備　前　市　事　務　事　業　評　価　シ　ー　ト

（平成24年度事業）

事業の概要

事業開始年度	平成17年度	根拠法令・例規等	老人保健法
総合計画 大項目 基本目標	02 健康でやさしさあふれるまちづくり	問合先 担当課（室）	保健課
中項目 基本施策	01 やさしさあふれるまちづくり	職・氏名	保険医療係長・小銭温直
小項目 施策	08 老人保健（医療費給付）	電話	0869-64-1819
事務事業名	01 老人保健制度維持事業	このシート作成に要した時間	2.0 時間

Plan

事業の目的

対象（誰・何に対して）	老人保健医療制度対象者
目的（何のために）	適切な医療給付を確保し、老人福祉に寄与する。
事業の意図する成果（どのような状態にしたいのか）	適切な給付事務による事業の完了を目指す。

Do

事業の実績

目的を達成するため実施した事業 細事業名	事業の説明	優先度
管理事業	老人医療給付に係る事務経費。	◎
補助金・交付金・繰入金返還事業	超過交付となった国県支出金について返還する。	○
繰出金	一般会計からの繰入金を翌年度で精算し、事業に対して超過繰入となった場合返還する。平成22年度で特別会計を閉じた。	▲

決算額 事業費等	単位	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績
事業費 直接事業費	千円	765	281	81
必要人員 人件費	千円	0.00人 0	0.00人 0	0.00人 0
事業費計	千円	765	281	81
財源 国県支出金	千円			
受益者負担	千円			
繰入金	千円			
市債	千円			
その他（　）	千円		88	81
一般財源	千円	765	193	
受益者負担比率	%	―	―	―

結果指標 結果指標名	単位	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績
対象者数	説明	1人当たり費用額		
結果指標量	人	0	0	0
対前年比	%			
活動コスト	円	765,000	281,000	80,544
単位当たりコスト	円	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しな

事業の成果

成果指標名	年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度目標値
1人当たり費用額	目標値（A）	0	0	0	0
	実績値（B）	0	0	0.00	到達目標値
	達成率（B/A）	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	0

成果指標設定の考え方・式や説明

年間費用額／対象者数
対象者一人当たりに要している費用額を目標値として設定している。

Check

事務事業の評価

該当する項目を□から■へ　＜ ■ ←「コピー」して「貼り付け」してください＞

妥当性の評価

市の関与の妥当性 必要性

- ■ 市が実施するよう法令で義務づけられている
- □ 法令で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす
- □ 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない
- □ 事業の内容が一部の受益者に偏っている
- □ 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている
- ■ 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である
- □ 事業開始当初の目的から変化してきている
- □ 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている
- □ 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある

市民ニーズ

- □ 市民・団体等から要望・要請が強い

妥当性評価（A 高い／B やや高い／C 普通／D やや低い／E 低い）：**C**

効率性の評価

コスト手段

- □ 単位当たりコストは前年度と比較して改善している
- □ 実施方法（派遣・委託含）を見直すことでコストを下げる余地がある
- □ 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある
- □ コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい
- □ 受益者負担率は適正である
- □ 受益者負担率を見直す余地がある
- □ サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない
- □ 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある
- □ 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている

効率性評価（A 高い／B やや高い／C 普通／D やや低い／E 低い）：**C**

有効性の評価

目的達成度 市民参画度

- □ 成果指標の設定は適切である
- □ 成果指標の到達目標値は達成できそうである
- □ 成果指標達成率は前年度と比較して向上している
- □ 成果指標達成率は80%未満となっている
- □ 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない
- □ 法定事務 ・ 内部管理事務　であり成果は求めにくい
- □ 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している
- □ 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している

有効性評価（A 高い／B やや高い／C 普通／D やや低い／E 低い）：**C**

進行年度（H25年度）の改革改善内容

状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		○					

説明：平成22年度末で老人保健特別会計を閉じたため、23年度からは一般会計で過年度分の請求に対する医療給付を行うこととした。

総合評価

請求遅れ等に適切に対応することで給付漏れのないよう適切な給付に努める。

総合評価（A 高い／B やや高い／C 普通／D やや低い／E 低い）：**C**

Action

平成26年度の方向性・取組目標

方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		○					

取組目標：請求遅れに対応して適切に事業を継続する。